

# 所沢のあすを考える

## 第10回

# 市民フォーラム



私たちは所沢市に住んでいて、市の将来をどのように描いているでしょうか。私たちが漠然と抱いている不安を「あす」の確かな道筋に変えていきませんか。選挙選の前半が終わりました。市政に関心を持ち参加していくきっかけになったでしょうか。**あなたの熱意で、市政を変えましょう！**さまざまな課題（裏面参照）を持ちより参加をお待ちしています。

## 【テーマ】あすの所沢のイメージを語り合おう～市政に自ら参加する場をつくる～

所沢市の財政は長いスパンでみた時、じわじわと悪化していき、例えるならまるで「ゆでガエル」状態にあるのではないかと、との指摘がありました。多くの方が気が付いたときにはすでに遅しとならないように、今どうすべきか考えてゆきましょう。

現在所沢市内でも子ども食堂が増えつつあります。子供の生活する場の学童や保育園も手狭になり待機児童が増加しています。また介護に疲れ余裕を失っている方がいたり、外国人が増えてきたりと、すでに制度の枠外に押し出されてしまっている所から表出してきました。こうした状態を解決し政策化していく道筋がなかなか見えていません。

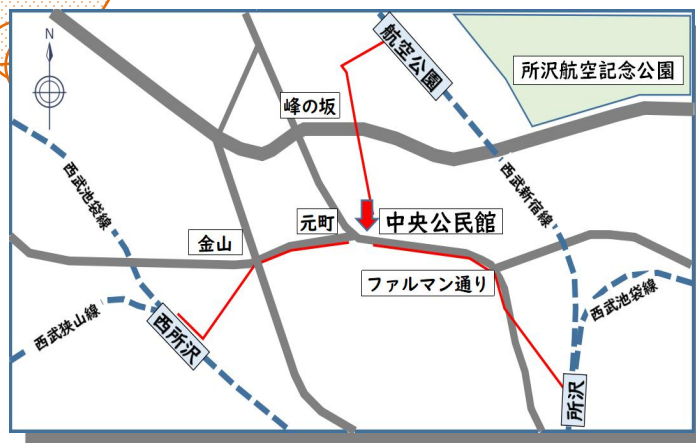
それでは市民の多様な声を市政に促したり、参加していくための場を作り上げていくために必要な事は何かでしょうか。

日時：**8月24日土曜**  
**午後2時～4時**

場所：所沢市中央公民館  
学習室8・9号

主催：所沢のあすを考える  
市民フォーラム

事務局 070-5029-1300（栗田）



中央公民館 電話 04-2926-9355  
所沢駅西口、西所沢駅東口、航空公園駅西口から各々徒歩15分

## 「所沢のあすを考える市民フォーラム」ニュース

第9回市民フォーラムは2019年7月28日（日）14時から16時半まで中央公民館学習室1・2号室にて開催されました。

今回のテーマは「所沢市の財政を検証しよう～町に住み続けるための財政とは～」と題して行われました。今回は市議会議員の粕谷氏と石本氏に参加頂き、議論ができました。また、中村議員から文書参加として財政民主主義についての問題提起を受けました。

初めに、運営委から所沢市の実態を大掴みで把握してもらうためにここ5～6年の財政の推移を資料と共に説明しました。市の歳入と歳出、特に民生費と扶助費との関係や物件費内の委託料、繰出金（他会計への持ち出し）などについて示されました。またこれまでのフォーラムの意見を集約する中で市の状況から、所沢に必要なものは何かをイメージ化し、市民の声を聞いて政策を出していくことが重要である旨説明しました。

次に、粕谷氏から「現状と課題」について報告されました。市の人口が働く世代層が減少していき他方で高齢者層が増加するが、財政的には行政サービスの見直しが求められることにつながる。出生数が減少していくのは問題だが、構成比がバランスされたところで落ち着くのではないかと。歳入について総額は増えているが自主財源（主として市税）が増えていない。増額分は社会保障費に使われている。経常収支比率（財政の弾力性を示す指標）の数値は硬直化を示している。平成29年度は94.9%なので経常一般財源（通常入る歳入）のうち数字上31億円は使える計算になるが、どう使うかは優先順位の問題である。社会保障費の伸びについて過剰なサービスで効果も疑問な所がある。例えば医療費、完全無料化が逆にモラルハザードを生む可能

性もあるので見直せば財政的には少し余裕がでる。また、公共施設の廃止、統合、複合化は早期にやっていく必要がある。

また予算のでき方について元財政課長ならではのトピックを交えての報告でした。

次に石本氏から、予算規模は増加しているが市民税はそれほど伸びていない。これは市民が「ゆでガエル」状態になっていくことではないかと話されました。さらに資料を示しながら、ここ10年くらいで債務負担行為総額（後年度の支出が確定されてのちに負担となるお金で未払金にあたり、平成21年度に約184億円→平成30年度に約612億円）が非常に増加しおおきな財政負担になってきていることに警鐘を鳴らされました。

最後の質疑では、議員に多岐にわたる質問が寄せられました。予定時刻を大きく過ぎてしまうほど議論は尽きませんでした。

債務負担は市債と重ならないか→重ならないが継続費は市債になることもある。何故増えたのか→東部クリーンセンターや、ミュージアムの改築費による。民間に委託すると安いと言えるか→現在は安いと長期的にはどうか。市の職員は適正か→これ以上減らすと委託費や臨時職員が増える、専門的な職員が無くなり別の問題が派生する。財政規模は適正か→歳入が増える環境が必要、中核市になると大きい。市は中核市を目指さないのか→以前議論したが財政的に負担が増え目指さないことになった。教育委員会は市の財政とどのようにかかわっているか→臨時の職員は増やしているというがよくわからない。中核市への移行で財政上はどんなメリット、デメリットがあるか調べて積み上げた議論をすべきではないか。どういう市が望ましいか考える方向で議論してほしい。市の環境や自然を残すこと、子供食堂では家族が病んで子供が不登校になっていることが起きているがどうするかなどの議論も。市税の納税率は上がっているのに税収はそれほど増えていない→徴収は考えて行っているのではないかと。などの質疑がなされました。

### フォーラムで課題とする「あすのための」主な政策

- ★子ども・教育環境と市政を考える～エアコン、保育園、学童
- ★介護・福祉と市政を考える★エネルギーの地産地消と市政を考える～市の産業育成
- ★市の人口問題と将来について考える～少子・高齢化・生産人口の減少
- ★街づくりと地域コミュニティの在り方について考える～公共施設の再編とコミュニティ
- ★住民自治と市政のガバナンスについて（市民参加と行政・議会の関係）
- ★市の財政からみた所沢市
- ★市の民主主義や平和と安全に対する在り方
- ★男女共同参画、マイノリティーについて市政の在り方